

上和田有機米生産組合だより

3月号

長かった冬が終わりいよいよ農作業の準備が始まります。先月19日組合員を対象にエコファーマー申請講習会と勉強会として講演会をおこないました。竹中先生の講演『今年の気象予報と対応！』



3月ですがまだ田んぼには雪があります

気象庁によると東北日本海側5月の気温は「低い」予想が40%でしたが、「今年は平成5年を思い出させるほどの冷夏」との情報を得て、肥料の散布時期や量の調整等の対策を勉強しました。講演のポイントは「農作業は旧暦で！」。今年は閏年、閏3月なので気温が上がらない分、いつも以上に苗作りをしっかりと。また、病気がでるのは『新月』、虫は『満月』。当組合で農薬は使えませんが、防除もタイミング良くとの事です。皆様も是非今年は旧暦に注目してみてください。



普及所の太田先生の説明

当組合員はエコファーマーを取得しなければなりません。ちょうど今年は五年目となり更新となります。新組合員の方には今年申請していただきます。

「エコファーマー」とは、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」にもとづき、たい肥等を使った土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行う農業者の愛称です。

環境保全型農業に取り組む農業者を支援するため、持続性の高い生産方式を導入する計画を立てた農業者を、知事がエコファーマーとして認定します。



竹中先生の講演